

## 日本天文学会 2003 年秋季年会のお知らせ

2003 年秋季年会は、2003 年 9 月 25 日(木)から 27 日(土)までの 3 日間、愛媛大学城北キャンパス（愛媛県松山市文京町 3 番）にて開催されます。プログラムや交通案内等は、天文月報の 96 巻 9 月号（2003 年 8 月 20 日発行）に掲載予定です。

### (1) 料金表

料金表	会員	非会員
参加費	3,000 円	5,000 円
	(但し会員で講演有りの場合、参加費は無料。)	
講演登録費	3,000 円	5,000 円 (1 講演につき)
年会予稿集	2,000 円	2,000 円

※講演申し込み後キャンセルしても、講演登録費を支払う必要があります。

### (2) 受付期間および連絡先

事項	受付期間・期限	送付先・連絡先等	関連項目
講演申込 (郵送) (電子メール)	2003 年 7 月 1 日(火)必着 2003 年 6 月 26 日(木)正午から 2003 年 7 月 3 日(木)正午まで	天文学会年会係	(3)(4)(5)(6)
講演順序の指定 ポストデッドライン ・ペーパー	2003 年 7 月 7 日(月)正午まで	送り先は WWW でアナウンス 年会実行委員会	(7)
最新情報コーナー	2003 年 9 月 19 日(金)まで	年会実行委員会	(8)
旅費一部補助	年会会期中まで	年会実行委員会	(9)
保育室の利用申込	講演申込と同時に	予稿原稿の該当欄にチェック	(10)
講演のキャンセル等	2003 年 8 月 25 日(月)まで	年会実行委員 (保育室担当)	(11)
各種の会合	分かった時点ですぐに	年会実行委員会	(12)
特別セッションの企画 (天文教育フォーラムも含む)	2003 年 8 月 25 日(月)まで	年会開催地理事	(13)
招待講演・特別講演 の講演者の推薦	2003 年 6 月 16 日(月)まで	年会実行委員会	(14)
ジュニアセッション	2003 年 9 月 19 日(金)まで	世話人代表	(15)

### 連絡先

◆日本天文学会年会係 長谷川直子

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会年会係

e-mail : jimmu@nenkai.asj.or.jp 電話 : 0422-31-5488 FAX : 0422-31-5487

◆年会開催地理事 粟木久光 (愛媛大学)

〒790-8577 愛媛県松山市文京町 2 番 5 号愛媛大学理学部物質理学科

e-mail : awaki@astro.phys.sci.ehime-u.ac.jp 電話 : 089-927-9582 FAX : 089-927-9580

◆年会実行委員会 委員長 土居 守 (年会理事/東京大学)

e-mail : nenkai2003@nenkai.asj.or.jp 電話 : 0422-34-5084 FAX : 0422-34-5041

◆ジュニアセッション世話人代表 吉川 真 (宇宙科学研究所)

e-mail : makoto@pub.isas.ac.jp 電話/FAX : 042-759-8341

◎年会開催期間 (2003 年 9 月 25 日～27 日) の現地連絡先は、プログラムおよび予稿集に掲載します。

(3) 分野と「企画セッション」

・講演分野は、以下の15分野です。なお、今回より恒星分野は恒星と高密度天体に分割しました。

---

H. 高密度天体, K. 天体力学, L. 太陽系, M. 太陽, N. 恒星, P. 星・惑星形成, Q. 星間現象,  
R. 銀河, S. 活動銀河核, T. 銀河団, U. 宇宙論, V. 地上観測機器, W. 飛翔体観測機器,  
X. 情報処理, Y. 天文教育・その他

---

・「企画セッション」は下記の2つです。

---

A. 「南天の探求」コンピーナー：山本 智（東大）・長田哲也（名大）・米倉覚則（大阪府立大）  
B. 「アマチュアとプロの連携による天文学」コンピーナー：  
山岡 均（九大）・渡部潤一（国立天文台）・加藤太一（京大）

---

・コンピーナー制のセッションは講演申込前にコンピーナー（世話人）から依頼される基調講演と通常の講演、議論の時間などから構成され、その割り振りはコンピーナーが決めます。口頭発表（口頭＋ポスターを含む）については、事前にコンピーナーに申し込みをし、コンピーナーから指示された講演形式で通常と同じように年会への講演申し込みをしていただきます。tennetなどに流れるコンピーナーからのアナウンスに注意し、申し込みに際してはコンピーナーからの指示に従ってください。コンピーナーの指示と異なる講演形式を選ぶことはできません。

(4) キーワード

・分野のあとにプログラム編成のため、キーワードをご記入ください。  
・特に、以下の分野については「推奨キーワード」の中からも該当するものを選んで、キーワードの先頭に入れてください。  
・観測機器分野（地上・飛翔体）では関連の深いプロジェクト名・衛星計画名などがあればご記入ください。

◎推奨キーワード

高密度天体：ブラックホール、中性子星、白色矮星、降着円盤、ガンマ線バースト、新星、超新星、  
元素合成

太陽：太陽内部、光球、彩層、活動領域、プロミネンス、フレア、コロナ、CME、太陽風

恒星：主系列星、巨星、褐色矮星、質量放出、ダスト、星周縁、惑星状星雲、元素合成

銀河：銀河形成、銀河進化・星形成史、近傍銀河、銀河系

地上観測機器：電波、赤外線、可視光、重力波、高エネルギー $\gamma$ 線、宇宙線

飛翔体観測機器：電波、赤外線、可視光、X線、 $\gamma$ 線、重力波

(5) 講演の形式

・(a) 口頭講演（9分間の口頭発表と3分間の質疑応答）、1人1講演のみ；(b) ポスター講演・口頭発表付き（ポスターと3分間の口頭発表）；(c) ポスター講演・口頭発表無し（ポスターのみ）の3種類を予定しています。講演時間は講演数によって変更することがあります。

・口頭での発表は、オーバーヘッドプロジェクター（OHP）または液晶プロジェクターを使用してください。今回から液晶プロジェクターは事前の申し込み無しに利用できます。

・ポスター1枚あたりのボードの大きさは、プログラムに掲載します。

（通常は、縦180cm、横90cmです。）

(6) 講演の申し込み方法

◆郵送による申し込みの場合

- ・規定の申込用紙に記入し、封筒の表に「講演申込書在中」と朱書の上、日本天文学会年会係までお送りください。
- ・申し込み用の原稿用紙が不足する場合は、必要枚数を天文学会年会係まで請求してください。

◆電子メールによる申し込みの場合

- ・申し込み開始2週間ほど前までに、WWW (<http://www.asj.or.jp/nenkai/>) に掲載します。
- ※極端に短い予稿など不適切な講演申し込みは受理しません。

(7) 講演順序の指定

- ・プロジェクト等で連続した講演を希望する場合は、申し込み後7月7日正午までに年会実行委員会宛に連絡してください。

(8) ポストデッドライン・ペーパー (PDL)

- ・PDLは、単に講演申し込みの締切日に間に合わなかったものではなく、緊急性・トピックス性に富んだものに限定されます。具体的には、約半年後の次の年会での発表まで待つことができない明確な理由(個人的理由は不可)が必要です。通常の申し込みよりもかなり受け付けの基準が厳しくなります。
- ・年会の申し込み期間締切後9月19日まで受け付けます。上記の理由とともに予稿原稿を年会実行委員会宛に送付してください。
- ・PDLの講演方法は、(b)ポスター講演・口頭発表付き(ポスターと3分間の口頭発表)または(c)ポスター講演・口頭発表無し(ポスターのみ)となります。ただし、プログラムに余裕がない場合は(c)講演になります。

(9) 最新情報コーナー

- ・最新の情報を掲示するコーナーを設けます。こちらは、ポストデッドライン・ペーパーよりは緩い基準で受け付けます。また、年会での講演とはなりません。予稿集等には掲載されません。
- ・発表の形式はポスターのみです。スペースが無くなれば、受け付けを終了します。

(10) 学生等の旅費一部補助

- ・年会出席旅費補助は、講演者であり、天文学会の正会員のうち学生に対する割引会費を適用されていて、なおかつ正式な給与を受けていない人に限り受けられます。
- ・補助を希望する場合は、予稿原稿の旅費補助の欄にチェックをしてください。
- ・補助金は年会会場受付にてお渡しします。印鑑をご持参ください。年会後にはお渡ししません。

(11) 天文学会会期中の保育室

- ・保育室を設置する予定です。詳細につきましては、天文学会のWWWに掲示します(<http://www.asj.or.jp/nenkai/>)。あるいは、加藤万里子年会実行委員(保育室担当)まで、電子メール([mariko@sunrise.hc.keio.ac.jp](mailto:mariko@sunrise.hc.keio.ac.jp))かFAX(045-566-1102)でお問い合わせください。

## (12) 講演のキャンセルや変更

・やむを得ず講演をキャンセルしたり、講演者を変更する場合は、速やかに年会実行委員会まで連絡してください。

※講演のキャンセルはお金と時間を無駄にするので、極力避けていただくようお願いします。

## (13) 年会時の各種会合

・会合などのために会議室や講演会場などを使用されたい場合には、年会開催地理事までご連絡ください。会合が開けるのは、セッション等が行われていない時間帯です。

・申し込みが多数の場合は、ご要望に沿えない場合もありますので、予めご了承ください。

## (14) 特別セッション・特別講演・招待講演

・多くの会員が関心を持つような話題について、「特別セッション」を開くことができます。原則的には同時に他のセッション等を行いません。また、会員の多くが興味を持つようなテーマについて、講師を依頼する「招待講演」や「特別講演」も時間が確保できれば行います。これらについては、年会実行委員会までご相談ください。

## (15) ジュニアセッション

・秋季年会では、ポスター発表のみのジュニアセッションを開催します。ジュニアセッションの発表応募資格は、原則として中学生・高校生（高専の1～3年を含む）、および同等の年齢の方ですが、前後1年間（つまり小学6年生および高校卒業後1年間）についても、発表の申し込みができます。発表の申し込みは、9月19日（金）まで受け付けます。ただし、発表の可能性がある場合には、できる限り7月11日までにお知らせください。これは、あらかじめポスターボードを確保しておくためです。7月11日までにご連絡をいただかなくても発表の申し込みはできますが、ポスターを貼るスペースが無くなりますと、発表が受け付けられないことがありますのでご注意ください。

・なお、口頭発表も含めたジュニアセッションは、2004年春季年会（名古屋大学、2004年3月22～24日）の会期中に行う予定です。

土居 守（年会実行委員長）